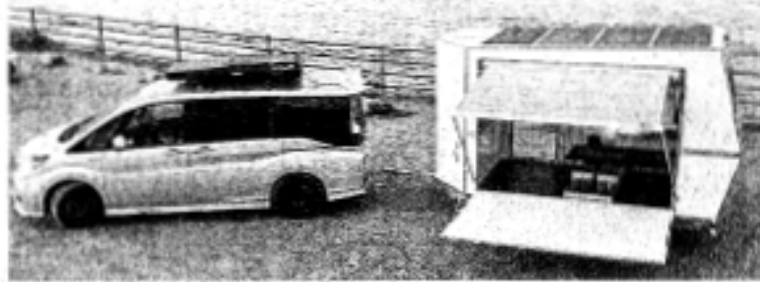




### ■創ったエネルギーを「持ち運ぶ」会社

日崎工業(川崎市川崎区)は、とにかくユニークな会社だ。これまで、各空港や展示場などの案内サインやモニュメント作りや「鳥人間コンテスト」の機体フレーム作りなどを手がけてきた。同社は、世の中のアイデアやイメージを形にする会社である。その中心にいるのが、



三瓶修社長である。

三瓶社長は、自社を「インフラにとらわれない自由なライフスタイルを創り

出す企業」と表現する。そんな日崎工業が次に手がけるのが、「創エネ」。ただの「創エネ」ではない、日崎工業らしさがある。同社は、太陽電池と蓄電池で創ったエネルギーを、あらゆるところで使えるように運ぶ「オフグリッドモビリティスペース」を開発した。創エネ装置を搭載した「モビリティスペース」といわれる移動可能な空間を車で引っ張り、日本中どこでも自給自足を可能とした。

従来のモビリティスペースは大型で牽引(けんいん)免許が必要だが、同社の製品は小型軽量のため、普通自動車第一種運転免許で運搬可能。さまざまなアイデアを形にしてきた日崎工業だからこそ、なし得た技だ。現在、本格販売に向けて、量産体制を構築中である。災害対策や環境配慮等に適しており、この製品を使って、高津区の中学校で環境配慮の特別授業などを行っている。

三瓶社長が大切にしている「自由なライフスタイル」が今、日崎工業の製品でどんどん形となっている。「ものづくりのまち、川崎」で、三瓶社長は今日も、川崎や日本のために、ユニークなアイデアの実現に思いを巡らせている。



日崎工業株式会社 〒210-0858 川崎市川崎区大川町7の2 ☎044(366)7711 <https://www.hizaki.jp/>

(情報提供・川崎市産業振興財団)